

安保破棄ニュース

No. 563
2024. 3. 14

安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会

〒五四三〇〇一四 大阪市天王寺区玉造元町一七一三
TEL 〇六一六七六一三三三三
FAX 〇六一六七六一三三三六
Eメール anpo-osk@abeam.ocn.ne.jp
ホームページ <http://www.anpo-osk.jp>

腐敗政治を 転換しよう！

形を変えた企業・団体献金と言われる政治資金。パーティ収入に係る、いわゆる「裏金」問題。
85人も自民党議員が「裏金」の不記載を認めているが、衆議院で行われた政治倫理審査会への出席はわずか5人。岸田首相は自身が出席することで「幕引き」を図ろうとしたが、その経緯や実態を全く明らかにしなかったことから、一層その組織的犯罪性への疑惑が深まりました。追及が続けられ、参議院の政治倫理審査会では野党が申し立てた32人の議員を審査に付すことが全会一致で議決されるなど、国民の怒りの強さが現れています。

そんな中、3月2日には、2024年度予算を年度内に成立可能とするため、予算案の衆議院通過を強行しました。

その予算案は、国民が苦しむ物価高騰には無為無策でありながら、大企業には「戦略分野国内生産促進税制」などの減税や様々な形での補助金を計上。

そしてアメリカによる中国包囲の軍事戦略の一翼を担うための大軍拡では、軍事費だけが前年度比16.5%増と突出して7兆9496億円。

中でも問題なのが、アメリカのFMS（有償軍事援助）など武器購入のためのローンである後年度負担が3兆9480億円（全体の49.7%）を占め、憲法が定める財政民主主義や予算単年度主義に反し、財政を硬直化させていることは重大です。

また、元経団連会長が座長を務め、日本最大の軍需企業三菱重工の現会長が参加する「防衛力の抜本的強化に関する有識者会議」を使い、防衛省が27年度までの5年間で43兆円としている軍事費について、物価高騰や円安の影響を上げ、増額を正当化しようとしていることを見逃すわけにはいきません。

さらに政府は、今国会に「重要経済安保情報保護法案」（経済秘密保護法案）を提出しています。

これは、私たちが憲法違反と指摘する「特定秘密保護法」の経済安全保障版だと言われているものです。

2022年に成立させた経済安全保障推進法をさらに進め、首相やその他「行政機関の長」が、漏洩すれば日本の安全保障に支障をきたす恐れが有るため、特に秘匿することが必要とするものを、何が機密なのかの定義もなく「重要経済安保情報」と指定し、その情報を扱う者が情報を漏らすことのない人物であるか否かを「適正評価」しようとしています。

現在の「特定秘密保護法」の対象となる情報は「防衛」「外交」「特定有害活動」「テロ」とされていますが、今回の法案が対象とする範囲は計り知れず、当然それに関わる国民ははるかに多くなります。

憲法で保障された国民の知る権利や表現・言論の自由が侵害される危険が、飛躍的に増大すると考えられる、こんな法案を認めるわけにはいきません。

まさに極まった大企業優遇、アメリカ言いなりに大軍拡を進め、軍事最優先に国民のくらしを破壊し、さらに国民の知る権利や表現・言論の自由までも侵害しようとする政治は、私たち国民が立憲野党と強く共闘し、転換させることが求められています。共にがんばりましょう。

2024年度

安保破棄大阪実行委員会 総会

開催の御案内

自衛隊の強化計画、名簿提供問題など、戦争協力体制の具体化の動きが強まっています。また、オスプレイの飛行再開や、辺野古新基地建設強行など、大軍拡・大増税、アメリカ追従路線まっしぐらの岸田政権。アメリカの世界戦略に基づいて、戦争に巻き込まれる危険性が日増しに高まっています。

沖縄では、今年の6月に県議選が行われます。これからの闘いにとって決して負けることのできない重要なたたかいです。

また、大阪では、万博・カジノ問題で、維新府政とのたたかいが重大局面を迎えています。

このような中、安保破棄実行委員会の果たすべき役割の重要性、今どのような活動を展開していくことが求められているのか。安保破棄中央実行委員会事務局長の東森さんを講師に招きお話していただきます。

また、大阪で活発に運動を展開されている「大軍拡大増税NO八尾連絡会」から特別報告もしていただきます。

各団体、地域、個人幹事の方々、是非ご出席下さい。

○日時：2024年3月17日(日) 13時半(受付13時から)～16時

○場所：大阪府社会福祉会館404号室

(地下鉄「谷町6丁目」下車、

4番出口より南へ5分)



大阪港をな！ 軍事利用するな！！



2月27日朝、大阪港に米強襲揚陸艦「アメリカ」が入港しました。この連絡が港湾局から入ったのが、22日でした。昨年2月にも同じ艦が入港しており、その時には6日前の連絡でした。回を重ねるごとに連絡が遅くなっていることにも抗議していかなければいけません。

安保破棄大阪実行委員会、大阪平和委員会、大阪原水協、非核の政府を求める大阪の会の4者で、「大阪港への米軍艦入港反対」の行動を呼びかけました。急な呼びかけにもかかわらず30人の方が駆けつけてくださいました。京都安保と兵庫安保からも参加してくださいました。

諸団体の取り組み、当面の予定など

- 3月**
 17日(日) 安保破棄大阪実行委員会総会 13:30～ 大阪府社会福祉会館 404号
 25日(月) 大阪安保23宣伝行動 12:00～ 淀屋橋
- 4月**
 4日(木)～6日(土) 沖縄行動(辺野古・うるま) 安保中央・全国革新懇主催
 15日(月) 自衛隊饗庭野演習場視察行動 近畿安保
 17日(水) 大阪安保常任幹事会 10:00～ 大阪安保事務所2階
 23日(火) 大阪安保23宣伝行動 12:00～ 淀屋橋

23 宣伝行動

2月の安保破棄大阪実行委員会23定例宣伝行動を2月22日の昼12時からいつもと同じく大阪市庁舎近くの淀屋橋で行いました。今回で通算423回目の23行動となります。

13人の参加で、ビラ配布、プラスターをもってのスタンディング、「辺野古新基地建設工事の中止と普天間基地の無条件撤去を求める」請願署名への協力呼びかけ、弁士による訴えを行いました。弁士は、大阪憲法会議・共同センター、大教組、自治労連、日本共産党大阪府委員会から出いただきました。

雨上がりで、風が強い中での行動でしたが、自分からボールペンを手に取り署名に協力してくれる人が2人いました。

自民党の裏金問題にも触れ、税金の使い方がおかしいことや、自分の家の近くに米軍基地ができたと思うか想像してもらいたいなど、道行くひとたちに力強く訴えました。

3月の23宣伝行動は、3月25日(月)に行います。



朝9時に入港してくる予定でしたが、遅れて、昼前になるという連絡が入りました。米軍艦に直接抗議の声を上げることができませんでした。7人の弁士による訴えと、参加者全員によるシュプレヒコールで、「米軍艦は入港するな！」「大阪港の軍事利用反対！」の意思をしっかりと発信しました。マイクを参加者の方に回して、それぞれの思いも話してもらいました。

大阪市長あてに、「米強襲揚陸艦アメリカの大阪港入港を許可しないことを求める要請」書を提出しました。3月中には、大阪港湾局と協議する予定です。



大阪港に入港した米強襲揚陸艦「アメリカ」